

# ～放課後等デイサービス～

当事業所の個別支援計画書は、5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）から個々の実態に合わせた支援目標を設定し作成しています。活動プログラム（計画）は5領域を基に、個々の状態に合わせて策定し、多様な遊びや活動の提供をおこなっています。

## 健康・生活

○健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得、生活におけるマネジメントスキルの育成

- ・安全に過ごせる環境への配慮。
- ・看護師による健康観察や医療的ケア児への対応。
- ・専門職による機能訓練やハビリテーション。

## 人間関係・社会性

○アタッチメント（愛着）の形成と安定、情緒の安定、人間関係の形成、遊びを通じた社会性の発達、自己理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加

- ・友だちと一緒に遊びや活動を通して「できた」「楽しい」などの気持ちの共有を図り、相手を思いやる心や、ルールを守ることの大切さを学ぶことができるよう支援します。
- ・園外での活動を通して、社会でのマナー・ルールを学ぶ機会を提供します。

## 認知・行動

○感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成、行動障害への予防及び対応

- ・個々の状態に合わせて、学習の基盤となるコグトレ等の教材を提供し、楽しんで取り組めるように支援します。
- ・一日のスケジュールを伝えたり、活動前には支援者がモデルを示したりするなど、子どもたちが見通しを持って安心して活動に取り組めるように支援します。また、必要に応じて視覚支援ツールを活用することで、より理解が深まるように支援します。
- ・苦手の活動では、スモールステップで取り組むことで成功体験を積み重ね、気持ちや情動の調整が出来るように支援します。

## 運動・感覚

○姿勢・運動・動作など身体技能の向上、感覚の活用と感覚特性の対応

- ・理学療法士や作業療法士のアセスメントを基に、運動プログラムを策定し、個々の発達段階に合わせて活動や遊びを調整し、体幹筋力や固有受容覚、前庭覚、空間認識力、協応性、日常生活動作に必要な手指の巧緻性や操作性の身体機能の向上がバランスよく図れるように支援します。

## 言語・コミュニケーション

○コミュニケーションの基礎的能力の向上、受容言語から表出言語への形成と活用、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、コミュニケーション手段の選択と活用、状況に応じたコミュニケーション、読み書きの向上

- ・個々の特性に応じて、支援者や友だちと関わる場面の機会を提供し、コミュニケーション能力が高められるよう支援します。